



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 6988 URL <http://www.nitto.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 柳楽 幸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 塩路 信也 TEL 06-6452-2101  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	506,544	9.4	55,066	13.6	54,738	10.4	36,052	19.7
24年3月期第3四半期	462,917	△4.4	48,480	△29.2	49,591	△27.5	30,115	△33.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 48,476百万円 (150.7%) 24年3月期第3四半期 19,336百万円 (△39.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	219.11	218.71
24年3月期第3四半期	183.12	182.83

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	721,165	468,494	64.6
24年3月期	651,908	435,935	66.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 465,736百万円 24年3月期 433,541百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
25年3月期	—	50.00	—		
25年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	675,000	11.1	72,000	27.5	71,000	21.5	47,000	51.3	285.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）NITTO DENKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	173,758,428株	24年3月期	173,758,428株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	9,094,781株	24年3月期	9,283,365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	164,540,151株	24年3月期3Q	164,456,248株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）7ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成25年3月期第3四半期(3ヶ月)の連結業績  
 (平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(百万円未満切捨て)  
 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	178,149	20.2	22,784	86.4	23,449	81.3	14,340	83.4
24年3月期第3四半期	148,250	△7.6	12,223	△42.4	12,933	△40.1	7,819	△44.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	87.12	86.94
24年3月期第3四半期	47.54	47.48

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 重要な後発事象	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、海外では米国経済が緩やかながら景気回復を続けましたが、欧州の債務問題や中国経済などの減速がありました。一方、国内では12月に入り、政権交代に伴う新たな経済政策への期待から円安傾向となり、依然、不透明感が残るものの景気回復への期待が高まりました。

このような経済環境のもと日東電工は、主力市場のエレクトロニクス業界において、需要が旺盛なスマートフォンやタブレットPC向けに新製品を投入しました。オプトロニクス製品では、第2四半期の立上げ当初に比較して第3四半期には歩留まりや生産性を向上させました。一方、パソコン需要の低迷によりHDD（ハード・ディスク・ドライブ）向け製品が影響を受けました。

以上の結果、売上高は前第3四半期と比較し9.4%増（以下の比較はこれに同じ）の506,544百万円に、営業利益は13.6%増の55,066百万円となりました。経常利益は、10.4%増の54,738百万円、四半期純利益は19.7%増の36,052百万円となりました。

## セグメント別の業績概況

## ① インダストリアルテープ

自動車業界向けは日中間の影響を受けましたが、北南米や南アジア市場が好調に推移したため、全体では堅調に推移しました。エレクトロニクス業界向けは、両面粘着テープやシーリング材料がスマートフォンやタブレットPCの市場拡大に加え、採用される製品数も増加したことにより、好調に推移しました。一方、電子部品やHDD向け粘着テープは、パソコンやデジタル家電などの市場が冷え込んだため、力強さに欠けた推移となりました。工業用途全般に使用される汎用性の高い両面粘着テープ、保護材料やフッ素樹脂製品は、関連市場の回復などにより堅調な展開となりました。

以上の結果、売上高は194,369百万円、営業利益は11,385百万円となりました。

## ② オプトロニクス

情報機能材料は、テレビ向けの需給が安定していたことに加え、スマートフォンやタブレットPC向けの市場が引き続き拡大したことより順調に推移しました。半導体用材料は、10月1日より光半導体向け封止材事業を除いた半導体用封止材事業を日立化成株式会社へ譲渡したことで売上が減少しました。プリント回路は、パソコン需要の低迷によりHDD市場の回復が遅れており、その影響を受けました。プロセス材料は、半導体業界の設備投資抑制の継続によりテープ貼り合せ装置の需要が低調に推移しましたが、主にスマートフォンやタブレットPCで使用される半導体の製造工程用テープが好調であったため全体では堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は307,867百万円、営業利益は43,760百万円となりました。

## ③ メディカル&amp;メンブレン

メディカル（医療関連材料）は、医療衛生材料が堅調に推移しましたが、医薬品である経皮吸収型テープ製剤が薬価改定と顧客による震災後の在庫積み増しの反動を受けました。加えて、米国における核酸医薬グループ会社がプロジェクト案件延期の影響を受けたことにより厳しい展開でした。メンブレン（高分子分離膜）は、新興国向け一般工業用途に注力したことや過去に受注した海外向け海水淡水化案件の出荷により堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は24,619百万円、営業利益は107百万円となりました。

なお、平成25年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成25年3月期第1四半期決算短信（平成24年7月31日開示）及び第2四半期決算短信（平成24年10月31日開示）をご参照ください。

(参考) セグメント別の状況 (9ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期		当第3四半期	
		自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	
		売上高		売上高	前年 同期比
イン ダ ス ト リ ア テ ル ー プ	基盤機能材料	183,450		194,369	106.0
	営業利益	11,113		11,385	102.5
オ ブ ト ロ ニ ク ス	情報機能材料	224,060		260,214	116.1
	半導体用材料	9,056		7,335	81.0
	プリント回路	33,164		31,056	93.6
	プロセス材料	9,260		9,261	100.0
	計	275,542		307,867	111.7
	営業利益	36,184		43,760	120.9
メ デ & イ メ カ ン ル ブ レ ン	メディカル	13,127		10,852	82.7
	メンブレン	12,323		13,767	111.7
	計	25,451		24,619	96.7
	営業利益	△1,527		107	—
全 社 ・ 消 去	売上高	△21,526		△20,312	—
	営業利益	2,710		△187	—
合 計	売上高	462,917		506,544	109.4
	営業利益	48,480		55,066	113.6

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期		当第3四半期	
		自平成23年10月1日 至平成23年12月31日		自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	
		売上高		売上高	前年 同期比
イン ダ ス ト リ ア テ ル ー プ	基盤機能材料	60,837		66,548	109.4
	営業利益	3,348		3,884	116.0
オ ブ ト ロ ニ ク ス	情報機能材料	70,759		95,625	135.1
	半導体用材料	2,547		1,447	56.8
	プリント回路	9,975		9,984	100.1
	プロセス材料	2,902		3,011	103.8
	計	86,185		110,070	127.7
	営業利益	8,863		18,606	209.9
メ デ & イ メ カ ン ブ レ ン	メディカル	4,248		3,822	90.0
	メンブレン	3,706		4,546	122.7
	計	7,955		8,369	105.2
	営業利益	△648		356	—
全 社 ・ 消 去	売上高	△6,726		△6,838	—
	営業利益	660		△62	—
合 計	売上高	148,250		178,149	120.2
	営業利益	12,223		22,784	186.4

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (10月31日時点予想) 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日		当連結会計年度 (今回予想) 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	
		売上高	前年 同期比	売上高	前年 同期比
イン ダ ス ト リ ア テ ル   プ	基盤機能材料	259,200	106.7	259,100	106.6
	営業利益	16,700	120.4	15,000	108.1
オ ブ ト ロ ニ ク ス	情報機能材料	339,000	116.2	345,400	118.4
	半導体用材料	8,600	73.4	8,300	70.8
	プリント回路	40,300	91.9	39,900	91.0
	プロセス材料	12,300	104.0	12,500	105.7
	計	400,200	111.4	406,100	113.1
	営業利益	52,000	123.3	57,100	135.4
メ デ& イ メ カ ン ル ブ レ ン	メディカル	15,200	90.1	15,200	90.1
	膜ブレン	17,900	108.4	18,600	112.6
	計	33,100	99.1	33,800	101.2
	営業利益	100	—	400	—
全 社 ・ 消 去	売上高	△22,500	—	△24,000	—
	営業利益	△800	—	△500	—
合 計	売上高	670,000	110.3	675,000	111.1
	営業利益	68,000	120.4	72,000	127.5



## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は69,256百万円増加し、721,165百万円となりました。また、純資産は32,559百万円増加し、468,494百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.5%から64.6%になりました。

主な増減は資産の部では、受取手形及び売掛金が30,757百万円増加、固定資産が17,344百万円増加しました。負債の部では、支払手形及び買掛金が21,381百万円増加、未払法人税等が6,642百万円増加しました。

(参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	39,086	54,056
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,972	△43,532
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,323	△14,414
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,936	5,524
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,146	1,634
VI 現金及び現金同等物の期首残高	148,289	145,712
VII 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	1,006
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	141,142	148,353

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の実績と第4四半期の世界経済の見通し、および事業環境見通しを踏まえ、平成24年10月31日に公表した平成25年3月期通期業績予想を修正します。

日東電工の主力市場であるエレクトロニクス業界におけるスマートフォンやタブレットPCは、成長市場ではあるものの、季節要因や顧客の一時的な生産調整等に伴い情報機能材料が影響を受ける見込みです。パソコン市場では需要の低迷が続き、HDD（ハード・ディスク・ドライブ）生産台数の回復が遅れるため回路材料は厳しい環境が継続すると見られます。また、デジタル家電などの需要には先行きの不透明感がありインダストリアルテープを中心に影響を受けることが懸念されます。しかし、米国の景気回復や国内の金融緩和への期待から円安が急速に進展しており、利益を押し上げる要因となっています。なお、予想の前提となる第4四半期の為替レートは、1米\$=85円としています。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日から平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	670,000	68,000	67,000	45,000	273.52
今回修正予想 (B)	675,000	72,000	71,000	47,000	285.59
増減額 (B-A)	5,000	4,000	4,000	2,000	—
増減率 (%)	0.7	5.9	6.0	4.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	607,639	56,491	58,436	31,066	188.90

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であるNITTO DENKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD.の株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	209,855	213,152
受取手形及び売掛金	126,840	157,598
商品及び製品	20,152	23,950
仕掛品	33,355	41,289
原材料及び貯蔵品	14,037	17,804
その他	19,287	21,849
貸倒引当金	△541	△742
流動資産合計	422,989	474,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	198,808	209,566
機械装置及び運搬具	338,555	349,916
工具、器具及び備品	37,907	39,312
土地	19,053	19,287
建設仮勘定	15,842	20,314
減価償却累計額	△420,091	△435,420
有形固定資産合計	190,074	202,975
無形固定資産		
無形固定資産合計	8,955	13,765
投資その他の資産		
その他	30,096	29,771
貸倒引当金	△207	△248
投資その他の資産合計	29,889	29,522
固定資産合計	228,919	246,264
資産合計	651,908	721,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,730	100,112
短期借入金	2,978	6,183
未払法人税等	3,507	10,149
役員賞与引当金	284	276
その他	52,987	56,914
流動負債合計	138,487	173,636
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	6,000	6,437
退職給付引当金	18,994	19,510
役員退職慰労引当金	394	383
その他	2,097	2,702
固定負債合計	77,486	79,034
負債合計	215,973	252,670
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	56,160	56,163
利益剰余金	412,784	432,385
自己株式	△33,655	△32,971
株主資本合計	462,073	482,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,178	1,291
繰延ヘッジ損益	△661	△1,533
為替換算調整勘定	△29,049	△16,382
その他の包括利益累計額合計	△28,532	△16,624
新株予約権	963	801
少数株主持分	1,430	1,955
純資産合計	435,935	468,494
負債純資産合計	651,908	721,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	462,917	506,544
売上原価	331,450	360,309
売上総利益	131,466	146,234
販売費及び一般管理費	82,985	91,168
営業利益	48,480	55,066
営業外収益		
受取利息	220	588
受取配当金	130	119
作業屑収入	979	1,009
受取保険金及び配当金	208	489
為替差益	222	—
補助金収入	330	525
雑収入	796	976
営業外収益合計	2,888	3,709
営業外費用		
支払利息	685	706
為替差損	—	1,430
雑損失	1,092	1,900
営業外費用合計	1,777	4,037
経常利益	49,591	54,738
特別利益		
固定資産売却益	24	68
特許関連収入	—	450
関係会社清算益	—	377
関係会社株式売却益	745	—
新株予約権戻入益	46	55
その他	0	—
特別利益合計	816	951
特別損失		
固定資産売却損	22	34
固定資産除却損	621	958
減損損失	2,210	—
関係会社株式売却損	—	2,167
特別退職金	22	205
その他	394	106
特別損失合計	3,272	3,473
税金等調整前四半期純利益	47,135	52,216
法人税等	16,806	15,807
少数株主損益調整前四半期純利益	30,329	36,409
少数株主利益	213	356
四半期純利益	30,115	36,052

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,329	36,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△567	112
繰延ヘッジ損益	△116	△872
為替換算調整勘定	△10,265	12,755
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	71
その他の包括利益合計	△10,992	12,067
四半期包括利益	19,336	48,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,208	47,959
少数株主に係る四半期包括利益	128	516

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	インダスト リアル テープ	オプトロ ニクス	メディカル & メンブレン	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	182,335	254,787	24,707	461,830	1,086	462,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,115	20,754	743	22,613	△22,613	—
計	183,450	275,542	25,451	484,444	△21,526	462,917
セグメント利益（営業利益）	11,113	36,184	△1,527	45,769	2,710	48,480

(注) セグメント利益の調整額 2,710百万円には、セグメント間取引消去による 211百万円、その他 2,499百万円が含まれております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	接合材料、表面保護材料、シーリング材料、包装材料・機器、エンプラ部材
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	インダスト リアル テープ	オプトロ ニクス	メディカル & メンブレン	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	192,808	289,066	23,749	505,624	920	506,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,560	18,801	870	21,232	△21,232	—
計	194,369	307,867	24,619	526,856	△20,312	506,544
セグメント利益(営業利益)	11,385	43,760	107	55,253	△187	55,066

(注) セグメント利益の調整額 △187百万円には、セグメント間取引消去による 167百万円、その他 △354百万円が含まれております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	接合材料、表面保護材料、シーリング材料、包装材料・機器、エンブラ部材
オプトロニクス	情報機能材料、半導体用材料、プリント回路、プロセス材料
メディカル&メンブレン	医療関連材料、高分子分離膜

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。